

東京 2020 パラリンピック聖火リレーについて

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会において、
2019年3月25日（月）に、以下の事項が公表されました。

1 東京 2020 パラリンピック聖火リレー概要

- ・ 聖火リレーランナーの特徴について

2020年を契機に共生社会を実現すべく、原則として「はじめて出会う3人」
がチームになってリレーを実施

- ・ 実施スケジュールについて

オリンピック終了後、2020年8月13日（木）から同月25日（火）のパラ
リンピック開会式までの移行期間に開催

東京都は、同月21日（金）から25日（火）までの最後の5日間を担当

（採火式、聖火ビジット、聖火リレー、集火式、開催都市内聖火リレー）

2 東京 2020 パラリンピック聖火リレーエンブレム

3 東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチ



PRESS RELEASE

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

<Tokyo 2020.NEWS-2019-081>

2019年3月25日

東京 2020 パラリンピック聖火リレー 概要、エンブレム、トーチの発表について

東京 2020 組織委員会は、本日、東京 2020 パラリンピック聖火リレーの概要、エンブレム、トーチを発表しました。

➤ 『東京 2020 パラリンピック聖火リレー概要』

《聖火リレーのランナーの特徴》

東京2020パラリンピック聖火リレーは、2020年を契機に共生社会を実現すべく、人と人、人と社会との、“新しいパートナーシップ”を考えるきっかけとなることを目指します。

そんな東京2020パラリンピック聖火リレーを体現すべく、原則として「はじめて出会う3人」がチームになってリレーを行います。

※具体のランナー選考基準・選考方法等は、上記設定を踏まえ、2019年秋頃に決定する予定です。

《実施スケジュール》

東京2020パラリンピック聖火リレーは、オリンピックの熱気と興奮をつなぐべく、オリンピック終了後、2020年8月13日（木）から8月25日（火）のパラリンピック開会式までの移行期間に開催します。

日本各地の熱意をパラリンピックの開会へとつなぐため、東京 2020 パラリンピック聖火リレーは、3つのシーンで展開していきます。

【シーン1：日本各地に熱意の火が灯る】

パラリンピックを応援する人々の「熱意」は、日本各地やイギリスのストーク・マンデビルで行われる採火式で「炎」にその姿を変え、さまざまな催しとともに、来る東京 2020 パラリンピックを盛り上げます。

こうした、日本各地で行われる東京 2020 パラリンピックを応援するための採火イベントや、学校や病

Worldwide Paralympic Partners									
Atos		BRIDGESTONE		Panasonic		TOYOTA			
Tokyo 2020 Paralympic Gold Partners									
Alibaba Group	Coca-Cola	OMEGA	P&G	Asahi	asics	Canon	ENEOS	東京海上日動	日本生命
NEC	NTT	NOMURA	FUJITSU	MIZUHO	SMBC 三井住友銀行	三井不動産	meiji	LIXIL	
TOKYO 2020									

院、パラリンピックゆかりの地などへの炎の訪問イベント（聖火ビジット）は、総称して「聖火フェスティバル」と呼ばれます。

「採火」「聖火ビジット」を経た炎は、各地を「出立」し、東京へ向けて送り出されます。

【シーン2：パラリンピック競技開催都市を、光り輝く炎が駆け抜ける】

埼玉県、千葉県、静岡県の実施開催県では、それぞれの県にて、採火式や聖火ビジットに加えて、聖火リレーも開催します。そして、8月の空の下、3人組となったパラリンピック聖火ランナーが駆け巡った後、それぞれの県から東京に向けて「出立」します。

そして、競技開催都市として東京都でも同様に採火を行い、東京都の火として聖火リレーを実施します。

【シーン3：パラリンピックを応援する全ての熱意が一つに。東京2020パラリンピック聖火が生まれる】

日本各地で採火された東京2020パラリンピックを応援する炎は、各地での「出立」を経て、開催都市・東京に旅立ちます。

東京2020パラリンピック競技開催県（埼玉県、千葉県、静岡県）で採火・出立された炎とともに、パラリンピックを応援する全ての人の熱意は東京で一つとなり（集火）、東京2020パラリンピック聖火が誕生します。

そして、東京2020パラリンピック開会に向けて、開催都市東京で聖火リレーが実施されます。

この3つのシーンによって構成される実施日程は以下のとおりです。

シーン	日程	場所	実施内容
シーン1	2020年8月13日（木） ～2020年8月17日（月）	各道府県 ※調整中	採火（式） （聖火ビジット） 出立（式）
シーン2	2020年8月18日（火）	静岡県（競技開催都県）	採火式 聖火ビジット 聖火リレー 出立式
	2020年8月19日（水）	千葉県（競技開催都県）	採火式 聖火ビジット 聖火リレー 出立式
	2020年8月20日（木）	埼玉県（競技開催都県）	採火式 聖火ビジット 聖火リレー 出立式
	2020年8月21日（金）	東京都（競技開催都県）	採火式 聖火ビジット 聖火リレー
シーン3	2020年8月21日（金）夜	東京都（開催都市）	集火式
	2020年8月22日（土） ～2020年8月25日（火） （パラリンピック開会式）	東京都（開催都市）	開催都市内聖火リレー

※ストック・マンデビルでの聖火フェスティバルは実施日・内容等、詳細未定です。

➤ 『東京 2020 パラリンピック聖火リレーエンブレム』

東京 2020 パラリンピック聖火リレーエンブレムは、東京 2020 パラリンピックブランドの一貫性を保ち、ファミリーであることがわかるように、大会エンブレムをデザインの起点としています。

大会エンブレムを構成する3つの四角形を聖火の炎と見たと、炎のダイナミックな動きを表現しています。また、日本らしさを表現するデザインモチーフとして、「拭きぼかし」という浮世絵の技法を用いました。色彩は、東京 2020 パラリンピック聖火らしい炎となるよう、日本の伝統色を用いています。

多様な個性の輝きを表現する「黄金（こがね）」に、「黄土（おうど）」を組み合わせ、人々に日本らしい祝祭感と東京 2020 パラリンピックへの期待感を印象付けます。

2020年8月、パラリンピック聖火リレーを通じて、出会い、お互いを認め合うことで生まれたみんなの聖火によって、全ての個を活かし合う新しい社会が照らしてまいります。

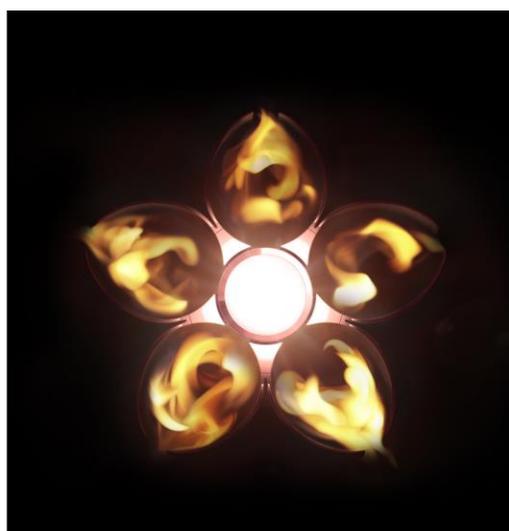
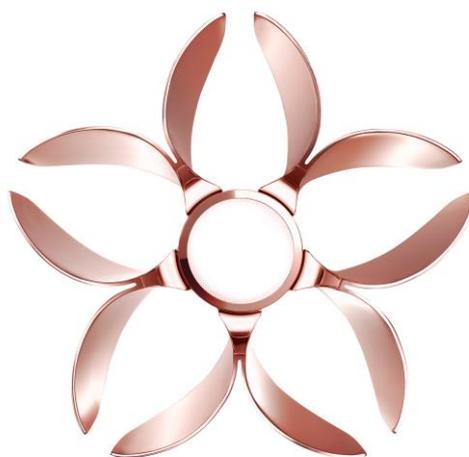
東京 2020 パラリンピック聖火リレーエンブレム



➤ 『東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチ』

東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチは、デザインから製造まで共同企業体を形成する仕組みで公募を実施し、各界の有識者の皆さまの協力を得て、優れたデザイン性、聖火を点す燃焼機構の性能、持続可能性への配慮などさまざまな観点で2回の審査会を実施し、選出されました。

東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチ



《東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチデザイン・特徴》

東京 2020 パラリンピックの聖火は、「Share Your Light/ あなたは、きっと、誰かの光だ。」という東京 2020 パラリンピック聖火リレーのコンセプトの下、パラリンピックを応援する全ての人の熱意を集めて、2020 年 8 月、東京に生み出されます。東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチは、パラリンピックに参加し、支え、そして応援する全ての人の気持ちを束ねる象徴となります。

◆ 伝統と現代技術の融合

日本のかたち、桜紋。

東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチは、その伝統的な形を、新幹線等の製造にも使われている製造技術（アルミ押出成形）を用いて形作っています。

継ぎ目のない、ひとつなぎのトーチ。

日本の伝統と高い技術力がひとつになることで生み出された、東京 2020 パラリンピック聖火リレーを象徴するかたちです。

◆ 復興への想いと持続可能性への配慮

東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチの素材の一部には、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用※しています。人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、人と人の新たな出会いが生まれるパラリンピック聖火リレーのトーチに姿を変え、一歩ずつ復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝えます。

※東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチに用いられている再利用アルミの含有率は約 30%です。

◆ 美しく、燃え続ける炎

東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチは、炎もデザインされています。

一枚一枚の桜の花びらから生み出された炎は、トーチの中央でひとつとなることで、より大きな輝きを生み出します。

聖火を点す燃焼部には、聖火を保ち続けるために、火力の強い青い炎と、火の無い燃焼（触媒燃焼）の 2 つの燃焼によって炎を維持する仕組みを採用するなど、いくつもの技術的な工夫が重ねられています。8 月の空と暮れなずむ街の光の中で、美しく、力強い炎を灯し続けます。

◆ 全ての人のための聖火リレートーチ

東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチは、重さや握りの形状にも配慮しています。年齢や性別を問わず、誰にとっても扱いやすいトーチです。

◆ 東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチの仕様

全 長 : 710mm

重 量 : 1.2kg(本体約 1kg+燃料部 200g)

色 : 桜ピンク

主な素材 : アルミニウム（仮設住宅由来の再生アルミニウム約 30%を含む）

《審査会開催日》

第1回審査会：2018年4月7日（土）、4月8日（日）

第2回審査会：2018年7月25日（水）

《製造共同企業体》

聖火リレートーチ企画・デザイン	：吉岡徳仁デザイン事務所
聖火リレートーチ筐体製造	：株式会社 UACJ 押出加工
素材調達	：株式会社 LIXIL
燃焼機構	：新富士バーナー株式会社
燃料供給・燃料ポンペ製造	：ENEOS グローブ株式会社

《東京 2020 聖火リレートーチデザイナー》



吉岡 徳仁（ヨシオカ トクジン）

1967年生まれ。デザイン、建築、現代美術の領域において活動し自然をテーマにした詩的な作品には、日本の美の根源が映し出されている。

光などの非物質的な要素を形象化した作品は、形という概念を超え、人間の感覚を超越するような、独自の表現を生み出している。

世界でも数々の国際的な賞を受賞している。

《東京 2020 聖火リレートーチ選定審査員》

氏名	所属等
井上 一人	リンナイ株式会社執行役員生産技術部長
上治 丈太郎	東京2020組織委員会参与／東京2020聖火リレー検討委員
榎本 正徳	一般社団法人日本エルピーガス供給機器工業会専務理事
大谷 繁	一般社団法人地球温暖化対策技術会技術顧問
川崎 和男	デザインディレクター／大阪大学名誉教授／名古屋市立大学名誉教授
駒木 裕史	一般社団法人日本ガス石油機器工業会ガス機器技術委員長／株式会社ガスター 経営管理部所属
田口 亜希	パラリンピアン（射撃）／一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事
武田 美保	オリンピック（水泳）／東京2020聖火リレー検討委員
長澤 忠徳	武蔵野美術大学学長
廣田 尚子	デザインディレクター／ヒロタデザインスタジオ マネージングディレクター／女子美術大学教授
深澤 直人	プロダクトデザイナー／ナオトフカサワデザイン代表／多摩美術大学教授／日本民藝館館長
藤野 純一	国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員／公益財団法人地球環境戦略研究機関プログラムディレクター／東京2020街づくり・持続可能性委員 脱炭素WG座長
宮田 亮平	文化庁長官
安西 葉子	アートディレクター／デザイナー／ドリルデザイン共同代表
山本 啓	株式会社長府製作所品質保証部部長

※50 音順 敬称略

➤ 『東京スカイツリー®特別ライティング&レーザーマッピング』

東京スカイツリー®にて東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチの発表を記念し、特別ライティングおよびレーザーマッピングを実施します。

≪特別ライティングおよびレーザーマッピングの詳細≫

- ・点灯期間 2019年3月25日(月)、26日(火) 各日19:00~24:00
- ・点灯内容 東京2020パラリンピック聖火リレートーチのカラーによる特別ライティング
- ・演出内容 下記内容での天望デッキ上部への「レーザーマッピング」
東京2020パラリンピック聖火リレー / Tokyo 2020 Paralympic Torch Relay /
Share Your Light

【素材のダウンロードについて】

東京2020プレスルーム(報道関係者向け情報サイト URL: <https://media.tokyo2020.org/jp/>)において、本リリース掲載の素材がダウンロードできます。番組や紙面上でご活用ください。

ユーザー名: media パスワード: tokyo2020media

※使用の際には「©Tokyo 2020」または、「Tokyo 2020 提供」の記載をお願いします。

東京2020パラリンピック聖火リレー コンセプト

Share Your Light

—あなたは、きっと、誰かの光だ。—

新たな出会いから生まれる光を集めて、みんなが調和し、活かしあう社会を照らします。

<https://tokyo2020.org/jp/games/torch/paralympic/>